

節分も過ぎ、暦の上では春。梅の開花も始まり、春の足音がだんだん近づいてきました。

今回は、2月15日にビオトープの専門家、早川広美さんにお会いする機会があり、今後のJFEトンボみちの活用について参考になるお話をいただきましたので、その内容を紹介します。

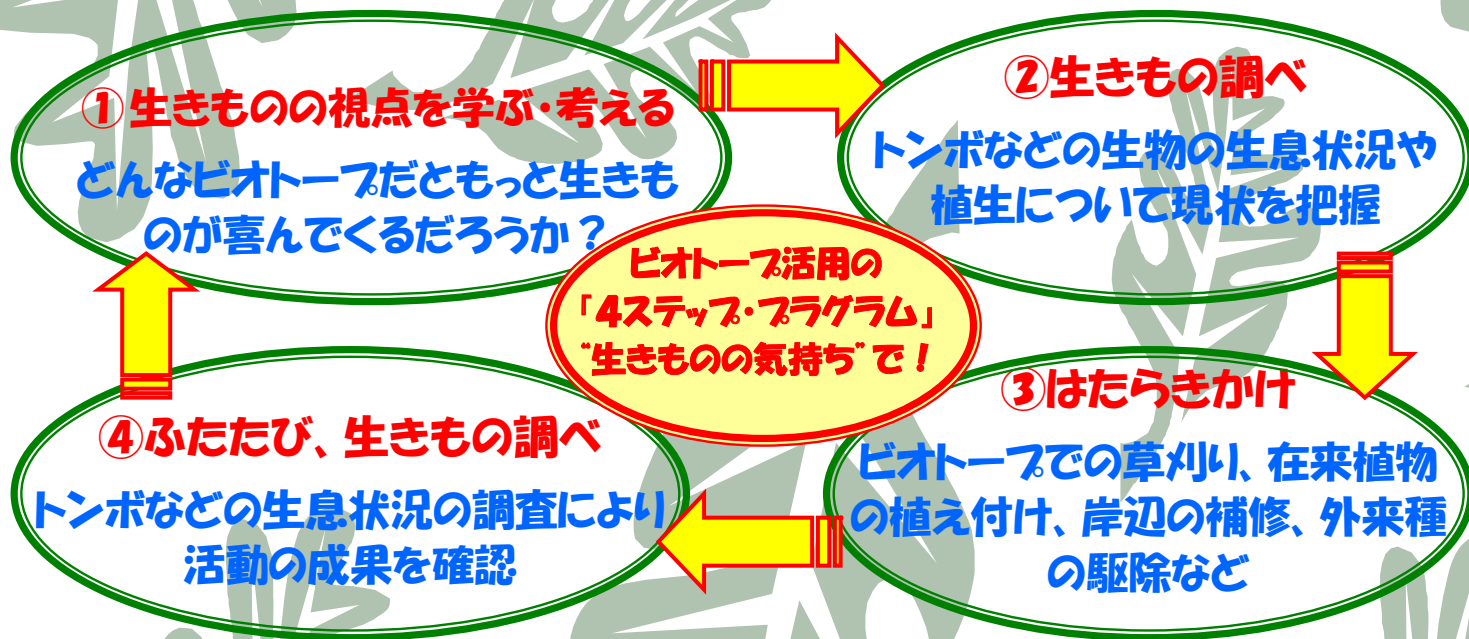
## 早川さんからのアドバイス

JFEトンボみちの活用の留意点として、

- ◇生きものの観察と維持管理は一緒に行う
- ◇ガーデニング(柵)はおもに人の視点だが、池とその周辺は「生きものの視点」での管理が大切
- ◇昔から周辺に住んでいた生きものたちが戻ってくる場所、喜んで集まる場所にする



京浜の森ロゴマーク



## ★早川広美さんの自己紹介★

私は、里山型公園のスタッフとして自然の保全や体験活動などに携わる一方、フリーランス(あおぞら自然共育舎)で自然体験・再生・創出の仕事をしています。「体験による気づき」を大切にすることが信条です。

☆ネイチャーゲームインストラクター・ビオトープ管理士・人と自然の研究所客員研究員☆ 横浜市戸塚区在住、1963年6月生まれ。(早川さん発行「あおぞら通信」より)

# 【シリーズ】 トンボみちの仲間たち

1月22日(土)  
のFC活動の  
様子です。



池の水の厚みは  
4~5cm でした

清掃・草取り

冷たい!



エンドウマメ(キヌサヤ)  
の収穫



今回参加のみなさん



温かいお茶でいっぱい  
やっぱり寒いです

## 野鳥たちもたくさんやって来ました!

この日、6種類の野鳥たちがトンボみちに訪れました。今回はシジュウカラとアオジを紹介しします。この2種以外に、ヒヨドリ、ツグミ、メジロ、ハクセキレイが見られました。次回以降、紹介しします。なお、写真と記事はオンライン野鳥図鑑より引用しました。

### シジュウカラ(♂と♀は似てます)



スズメ目 シジュウカラ科  
体長：14~15cm  
鳴き声：ツピツピツピツピ、  
ツーツー、チュクチュク  
えさ：昆虫の幼虫・成虫、  
植物の種子、果実  
生息：ほぼ日本全土

### アオジ♂



スズメ目 ホオジロ科  
体長：16cm  
鳴き声：チョッピーチョ、  
チクイチリリ、  
チッと鋭く鳴く  
えさ：イネ科などの種子、  
イボタノキの果実、  
夏には昆虫の成虫・幼虫  
生息：本州の中部以北、  
冬季は本州西南部以南  
で過ごす

これからの活動予定です。**雨天は1週間延期**

今月：2月26日(土) 8時~10時

来月：3月26日(土) 8時~10時

**事前申し込み不要、だれでも自由参加**

発行者：トンボみちファンクラブ

事務局：〒230-8611 横浜市鶴見区末広町2-1

JFEエンジニアリング(株)鶴見製作所 環境保全室

Tel045-505-7447、Fax045-505-7409

FC通信は、「第一回関東・水と緑のネットワーク拠点百選」の支援により発行しています。  
使用しているリサイクル用紙は、古紙パルプ配合率100%です。